

一般演題（ポスター） 1 1月28日（木） 15:30～16:30 ポスター会場①（1Fロビー）

児童・多文化等

座長：須田 史朗（自治医科大学医学部精神医学教室）

- P1-1 発達障害圏の子達が安心して飛行機に乗ることができるようにする取り組みの報告
宮崎 健祐¹⁾、市川 宏伸²⁾
(高月病院精神科¹⁾、東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科²⁾)
- P1-2 障害学生修学支援コーディネーターの活用状況に関する調査報告
長沼 洋一¹⁾、長沼 葉月²⁾
(東海大学健康科学部社会福祉学科¹⁾、首都大学東京都市教養学部人文・社会系²⁾)
- P1-3 能面テストにおける児童と教職員の表情認知
佐藤 唯¹⁾、簗下 成子²⁾
(筑波心理科学研究所¹⁾、川村学園女子大学文学部心理学科²⁾)
- P1-4 LGBTの思春期におけるカミングアウトが成人後の精神的健康に及ぼす影響について
岩田 知子、田中 速
(東京成徳大学大学院心理学研究科)
- P1-5 生体移植が中心である日本の移植の現状について 一文化的背景の考察
岡田 剛史、安田 学、小林 聡幸、須田 史朗
(自治医科大学精神医学教室)
- P1-6 カンボジア・シェムリアップ州における精神保健支援のコストについて
丸谷 俊之^{1,2,3)}、西尾 彰泰^{2,4)}、篠原 慶朗^{2,3)}、野崎 章子^{2,5)}、手林 佳正²⁾、窪田 彰^{2,3)}、
青木 勉^{2,6)}
(東京工業大学保健管理センター¹⁾、NPO 法人途上国の精神保健を支えるネットワーク (SUMH)²⁾、
錦糸町クボタクリニック³⁾、岐阜大学保健管理センター⁴⁾、千葉大学大学院看護学研究科⁵⁾、
総合病院国保旭中央病院神経精神科・児童精神科⁶⁾)
- P1-7 カンボジアにおけるメンタルヘルスリテラシー ー2001年の調査よりー
野崎 章子^{1,6)}、青木 勉^{1,2)}、窪田 彰^{1,3)}、丸谷 俊之^{1,4)}、西尾 彰泰^{1,5)}、篠原 慶朗^{1,3)}、
手林 佳正¹⁾
(NPO 法人途上国の精神保健を支えるネットワーク (SUMH)¹⁾、総合病院国保旭中央病院神経
精神科・児童精神科²⁾、錦糸町クボタクリニック³⁾、東京工業大学保健管理センター⁴⁾、岐阜
大学保健管理センター⁵⁾、千葉大学大学院看護学研究科⁶⁾)
- P1-8 亜急性期病棟入院中の統合失調症患者に対する心理教育の効果
松崎 明香、常岡 俊昭、新井 豪佑、佐賀 信之、土岐 幸生、杉沢 諭、池田 朋広、
藤澤 尚子、坂本 聖、倉持光知子、池田 勝之、稲本 淳子、岩波 明
(昭和大学附属烏山病院精神医学講座)

一般演題（ポスター）2 1月28日（木）15:30～16:30 ポスター会場①（1Fロビー）

自殺等①

座長：影山 隆之（大分県立看護科学大学精神看護学研究室）

- P2-1 職域におけるうつ病一次予防を目指したウォーキングの睡眠に対する影響
堀 輝¹⁾、杉田 篤子¹⁾、中村 純²⁾、吉村 玲児¹⁾
(産業医科大学精神医学教室¹⁾、北九州古賀病院²⁾)
- P2-2 スーパー救急病棟における感情障害患者の社会背景と転帰の関係
湯田 初^{1,2)}、富岡 大^{1,2)}、小川 浩史^{1,2)}、大内 宏美^{1,2)}、富田 秋沙^{1,2)}、南 壮介^{1,2)}、
梅澤かおり^{1,2)}、堀内健太郎^{1,2)}、中村 暖^{1,2)}、長谷川 澄^{1,2)}、菊池 優^{1,2)}、黒沢 顕三^{1,2)}、
岩波 明¹⁾、稲本 淳子^{1,2)}
(昭和大学医学部精神医学講座¹⁾、昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター²⁾)
- P2-3 救命救急センターにおける自殺企図入院症例に対するソーシャルワークについて ～ソーシャル
ワーカー介入群と非介入群との比較
秋山 洋平¹⁾、内田 敦子¹⁾、木本 幸佑²⁾、三上 克央²⁾、山本 賢司²⁾
(東海大学医学部附属病院患者支援センター総合相談室¹⁾、東海大学医学部専門診療学系精神科学²⁾)
- P2-4 救命救急センター退院後の自殺未遂者の回復プロセスに関する研究 一定性的方法を用いた
概念化、理論化の試みー
大高 靖史、成重竜一郎、肥田 道彦、大久保善朗
(日本医科大学精神医学教室)
- P2-5 急性期治療入院棟における自殺ハイリスク患者への看護の実際 ～安心・安全な看護を目指して～
藤岡 彩夏、大東 真弓、小田 邦恵、道廣 真弓
(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)
- P2-6 急性期治療入院棟における自殺ハイリスク患者の退院支援
工藤 真紀、谷口 斐香
(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)
- P2-7 身体疾患が自殺のリスクに及ぼす影響：心理学的剖検研究における自殺既遂事例から見てきた
こと
小高 真美¹⁾、松本 俊彦¹⁾、高井美智子¹⁾、山内 貴史¹⁾、白川 教人²⁾、竹島 正³⁾
(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター¹⁾、横浜市こころの
健康相談センター²⁾、川崎市健康福祉局障害保健福祉部³⁾)
- P2-8 不知火病院における自殺予防対策とチーム・マネジメントの実践 ～ストレスケア病棟から
見えてくる精神保健福祉士の果たす役割～
佐藤 圭、徳永雄一郎、前田 佐織
(医療法人新光会不知火病院)

一般演題（ポスター） 3 1月28日（木） 16:30～17:30 ポスター会場①（1Fロビー）

自殺等②

座長：岡 檀（和歌山県立医科大学保健看護学部）

- P3-1 大阪における自殺対策 ～多施設連携と多機関連携の重要性～
織田 裕行¹⁾、山田妃沙子^{1,2)}、北元 健^{1,2)}、池田俊一郎¹⁾、中森 靖²⁾、木下 利彦¹⁾
(関西医科大学附属滝井病院精神神経科¹⁾、関西医科大学附属滝井病院救命救急センター²⁾)
- P3-2 摂食障害患者の自殺について ―自験例からの考察―
辻 里花¹⁾、置村 杏奈²⁾、岩本 邦弘¹⁾、荘司 寛綱¹⁾、片岡 龍司¹⁾、小林 健一¹⁾、
鈴木 太¹⁾、小野木千恵¹⁾、木村 宏之¹⁾、入谷 修司¹⁾、尾崎 紀夫¹⁾
(名古屋大学医学部付属病院精神科親と子どもの診療科¹⁾、岐阜病院²⁾)
- P3-3 地域で活動するゲートキーパーが自殺念慮者へ行えた対応の実際
後藤 成人、影山 隆之
(大分県立看護科学大学精神看護学研究室)
- P3-4 自殺未遂者の保健所での支援へのアクセスについて
本屋敷美奈
(大阪府こころの健康総合センター)
- P3-5 司法書士による自殺未遂者等支援 「ベッドサイド法律相談」
森部 光一
(福岡県司法書士会)
- P3-6 自殺関連行動がある精神科患者への訪問看護による支援の実態 ―訪問看護ステーションの特徴
廣川 聖子¹⁾、竹島 正²⁾
(首都大学東京健康福祉学部看護学科¹⁾、川崎市健康福祉局障害保健福祉部²⁾)
- P3-7 訪問看護を利用している自殺関連行動の既往がある精神科患者および支援の特徴
廣川 聖子^{1,2)}、竹島 正²⁾
(首都大学東京健康福祉学部看護学科¹⁾、川崎市健康福祉局障害保健福祉部²⁾)

一般演題（ポスター） 4 1月28日（木） 16:30～17:30 ポスター会場②（2Fアトリウム）

災害・ストレス等

座長：赤澤 正人（兵庫県こころのケアセンター）

- P4-1 「感情のエクスポージャー」による強迫性障害を抱えたA氏への介入とその変容 ～精神科デイケアにて復職と夢実現に向けての取組
西山 圭一
（公益財団法人慈圭会慈圭病院）
- P4-2 学校場面におけるインターネットを用いた認知行動療法（iCBT）の課題とその展開
関崎 亮^{1,2)}、根本 隆洋¹⁾、辻野 尚久¹⁾、高野千枝子²⁾、吉田 智絵²⁾、山口 大樹¹⁾、片桐 直之¹⁾、大野 裕³⁾、水野 雅文¹⁾
（東邦大学医学部精神神経医学講座¹⁾、学校法人桐丘学園桐生第一高等学校²⁾、一般社団法人認知行動療法研究開発センター³⁾）
- P4-3 看護学生におけるダイエットサプリメントの使用状況
大賀 淳子、江幡 美紗、石田 欣也
（埼玉医科大学保健医療学部看護学科）
- P4-4 欧米の戦争体験と精神障害：ベトナム戦争外の戦争から見た War Syndrome
高橋 紀子、前田 正治
（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）
- P4-5 震災関連動画の視聴前後における心理的变化の検討
加藤 大延¹⁾、小野 千晶^{1,2)}、内田 知宏³⁾、富田 博秋^{1,2)}
（東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野¹⁾、東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野²⁾、尚絅学院大学総合人間科学部³⁾）
- P4-6 ふくしま心のケアセンターの3年の歩み ―その成果と課題―
松田聡一郎¹⁾、昼田源四郎¹⁾、前田 正治^{1,2)}、植田由紀子¹⁾、松島 輝明¹⁾、落合 美香¹⁾
（（一社）福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター¹⁾、福島県立医科大学²⁾）
- P4-7 福島県県民健康調査 平成25年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」電話支援の実践
及川 祐一¹⁾、前田 正治^{1,2)}、柏崎 佑哉¹⁾、上田 由桂¹⁾、高橋 紀子^{1,2)}、藤井 千太^{1,2)}、桃井 真帆¹⁾、安村 誠司^{1,3)}
（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター¹⁾、福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座²⁾、福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座³⁾）
- P4-8 日本社会とスピリチュアリティ ―実存の不安を抱える症例に対する霊性の活用―
新谷 宏伸
（医療法人社団明雄会本庄児玉病院）

一般演題（ポスター） 5 1月29日（金） 10:00～11:00 ポスター会場①（1Fロビー）

認知症・社会復帰

座長：岡村 毅（東京大学医学部精神医学教室）

- P5-1 認知症との関わり・知識の有無と認知症啓発活動による意識変容
松田 幸久¹⁾、石崎 昌夫²⁾、橋本 玲子³⁾、田中 浩二⁴⁾、川崎 康弘³⁾
(金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター戦略的研究部¹⁾、金沢医科大学医学部
衛生学²⁾、金沢医科大学医学部精神神経科学³⁾、金沢医科大学看護学部精神看護学⁴⁾)
- P5-2 物忘れ外来におけるうつ状態の鑑別の重要性について ～認知症以外の物忘れを主訴とするうつ
状態の鑑別を要した2事例からの考察～
上村 直人、須賀 楓介、土居江里奈、赤松 正規、下寺 信次、森信 繁
(高知大学医学部精神科)
- P5-3 高齢者にみられる不安状態の鑑別の重要性
上村 直人
(高知大学医学部精神科)
- P5-4 障害者に対する治療への同意取得のあり方
柴野 荘一¹⁾、安藤久美子²⁾、岡田 幸之³⁾
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療管理政策学コース¹⁾、国立研究開発法人国立精神
・神経医療研究センター²⁾、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野³⁾)
- P5-5 生活支援を中心とした当診療所デイケアの取り組み
田中 美都、森川 明子、平松 悦子、直江 由裕、廣谷 直子、原田 絢子、安野 隆司、
川上 俊輔、塩入 美希、和氣 孝宏、高橋 正幸
(独)岡山県精神科医療センター東古松サント診療所)
- P5-6 スーパー救急病棟における入院患者の転帰への社会的背景の影響
小川 浩史^{1,2)}、富岡 大^{1,2)}、湯田 初^{1,2)}、大内 宏美^{1,2)}、富田 秋沙^{1,2)}、南 壮介^{1,2)}、
梅澤かおり^{1,2)}、堀内健太郎^{1,2)}、中村 暖^{1,2)}、長谷川 澄^{1,2)}、菊池 優^{1,2)}、黒沢 顕三^{1,2)}、
岩波 明¹⁾、稲本 淳子^{1,2)}
(昭和大学医学部精神医学講座¹⁾、昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター²⁾)
- P5-7 「精神科デイケアおよび訪問支援統合化プログラム」の開発評価の可能性の検討 - フィデリティ
得点の分布から -
大山早紀子¹⁾、下園美保子²⁾、大島 巖³⁾
(立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科¹⁾、帝京大学医療技術学部看護学科地域・公衆衛生
看護学領域²⁾、日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科³⁾)

一般演題（ポスター） 6 1月29日（金） 10:00～11:00 ポスター会場②（2Fアトリウム）

統合失調症

座長：山澤 涼子（医療法人財団厚生協会大泉病院）

- P6-1 重度かつ慢性患者のグループ活動報告
神崎 耕太
（岡山県精神科医療センター看護部）
- P6-2 統合失調症者と施設スタッフ間における社会生活評価に関連した研究
伊藤 文子¹⁾、風間 真理²⁾
（帝京大学医療技術学部看護学科¹⁾、目白大学大学院看護学研究科²⁾）
- P6-3 DUP が長期に及んだものの順調な回復を遂げた統合失調症患者の一症例 ―個別による心理教育的なかかわりの重要性―
芦田 和昭、修多羅巧和、山本 通孝、赤星 麗佳
（社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル）
- P6-4 ベテラン看護師はどこを見ているか ～経験の可視化と伝達を目指して～
永澤 馨也¹⁾、五十嵐千賀子¹⁾、菅原 理一¹⁾、佐藤 亮¹⁾、後藤 順子²⁾、中村 勝³⁾
（山形県立こころの医療センター¹⁾、山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科²⁾、新潟大学医学部保健学科³⁾）
- P6-5 統合失調症者のセルフケア能力質問紙の作成
糟谷久美子^{1,2)}、山田 浩雅¹⁾、田上 恭子¹⁾、中戸川早苗¹⁾、菊池美智子²⁾、秋山 紘子²⁾、岩瀬 信夫¹⁾
（愛知県立大学看護学部¹⁾、医療法人八誠会守山荘病院²⁾）
- P6-6 精神科救急入院における後方移送症例の社会的背景
大内 宏美^{1,2)}、富岡 大^{1,2)}、湯田 初^{1,2)}、小川 浩史^{1,2)}、富田 秋沙^{1,2)}、南 壮介^{1,2)}、梅澤かおり^{1,2)}、堀内健太郎^{1,2)}、中村 暖^{1,2)}、長谷川 澄^{1,2)}、菊池 優^{1,2)}、黒澤 顕三^{1,2)}、岩波 明¹⁾、稲本 淳子^{1,2)}
（昭和大学精神医学講座¹⁾、昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター²⁾）

一般演題(ポスター) 7 1月29日(金) 13:30~14:30 ポスター会場①(1Fロビー)

司法・依存症等

座長：岡田 幸之(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

- P7-1 触法精神障害者の地域生活の継続に関する研究
 館 祥平
 (千葉大学大学院看護学研究科生活創成看護学講座地域創成看護学教育研究分野精神看護学専門領域)
- P7-2 『犯罪白書』で述べられる精神障害者による犯罪：全55冊の検討
 金澤 由佳^{1,2)}、岡田 幸之³⁾、安藤久美子¹⁾
 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所¹⁾、早稲田大学大学院社会科学部²⁾、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科³⁾)
- P7-3 性犯罪のじゃっ起に係る脳神経学的・認知心理学的なメカニズムの考察
 大江 由香¹⁾、小島 秀吾²⁾
 (八王子少年鑑別所鑑別部門¹⁾、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科臨床心理学専攻²⁾)
- P7-4 刑事施設内の医療の現状について ―医療刑務所と矯正医学の紹介―
 遠藤 元彦、半田 信之、安部 明弘、松田 聖士
 (法務省矯正局岡崎医療刑務所医療部)
- P7-5 アルコール問題とうつ病を併せ持つ者への認知行動療法プログラムの実践報告 -ワークブックを用いた個別介入の一事例を中心に-
 高木のり子¹⁾、池田 朋広^{1,2,3)}、太田 晴久^{1,2)}、常岡 俊昭^{1,2)}、大野 泰正^{1,2)}、栗原 慎介¹⁾、宇山 多恵¹⁾、根本ありす¹⁾、白田千鶴子¹⁾、種田 綾乃⁴⁾、齋藤 勲^{5,6)}、松本 俊彦³⁾、岩波 明^{1,2)}
 (昭和大学附属烏山病院¹⁾、昭和大学医学部精神医学講座²⁾、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部³⁾、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰研究部⁴⁾、昭和大学薬学部病院薬剤学教室⁵⁾、独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第二部⁶⁾)
- P7-6 "生きるための飲酒"から"生かすための断酒"への変化を支援して ―「酒をやめたい」との思いを共有し、寄り添うことの大切さ―
 伏見みゆき、笠原 恵
 (公益財団法人仁和会ももの里病院)
- P7-7 酒類持込みによる強制退院後、訪問を経て断酒へとつながった一例
 池上 淳哉
 (岡山県精神科医療センター)
- P7-8 アルコール依存症専門入院治療を受けている患者の再飲酒リスクに関する検討
 齋藤 淳一^{1,2)}、奈良圭之輔²⁾、中田 千尋²⁾、本多 恒治²⁾、須田 賢太²⁾、藤代真希子^{1,2)}、田中 則行²⁾、上原 陽子²⁾、夏目 享²⁾、岡村麻梨佳²⁾、片桐 直之¹⁾、根本 隆洋¹⁾、水野 雅文¹⁾
 (東邦大学医学部精神神経医学講座¹⁾、公益財団法人井之頭病院²⁾)

一般演題(ポスター) 8 1月29日(金) 13:30~14:30 ポスター会場②(2Fアトリウム)

地域精神保健・福祉等

座長: 新村 順子(東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野)

- P8-1 呼称名変更に伴う危険ドラッグ使用患者の受診件数の変化の検討
鹿島美納子^{1,2)}、新村 秀人¹⁾、齋藤 寿昭²⁾、三村 将¹⁾、水野 雅文³⁾
(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室¹⁾、川崎市立川崎病院精神・神経科²⁾、東邦大学医学部精神神経医学講座³⁾)
- P8-2 「精神障がい者理解促進」研修会プログラム開発 ～地域生活を直接支えている方への7年間に渡る研修会を経て～
川村 道子、赤星 誠、福浦 善友
(宮崎県立看護大学看護学部)
- P8-3 DV被害者の暴力に対する認知が被害後の相談と離別の有無に与える関連要因について
片柳せつ子¹⁾、森田 展彰²⁾、斎藤 環²⁾、大谷 保和²⁾
(筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマンケア科学専攻¹⁾、筑波大学医学医療系²⁾)
- P8-4 深刻な虐待の世代間伝達を認め、要保護児童対策地域協議会による介入を要した一例
濱屋 圭^{1,2)}、張 賢徳¹⁾
(帝京大学付属溝の口病院精神神経科¹⁾、医療法人社団ハートフル川崎病院²⁾)
- P8-5 地域住民に啓発すべき精神保健情報の課題 ～計量テキスト分析による医療計画の分析～
児玉 壮志¹⁾、池田 望²⁾
(北海道医療大学リハビリテーション学部作業療法学科¹⁾、札幌医科大学大学院保健医療学研究科²⁾)
- P8-6 障害者とともに歩む地域精神保健福祉活動
大谷美佐恵¹⁾、井上 博子²⁾、河副 節美²⁾
(岡山県精神保健福祉センター¹⁾、美作保健所勝英支所²⁾)
- P8-7 精神保健福祉行政機能の再編に関する考察
保健所及び市町村における精神障害者支援に関する全国調査の結果から
山本 賢^{1,2)}、桑原 寛⁴⁾、野口 正行⁵⁾、伊藤 真人⁶⁾、大塚 俊弘⁷⁾、金田一正史^{2,8)}、齋藤 秀一^{2,9)}、伊東 秀幸¹⁰⁾、呉 恩恵³⁾、田中 英樹³⁾
(飯能市保健センター¹⁾、全国精神保健福祉相談員会²⁾、早稲田大学人間科学学術院³⁾、神奈川県精神保健福祉センター⁴⁾、岡山県精神保健福祉センター⁵⁾、川崎市精神保健福祉センター⁶⁾、長崎県県央保健所全国保健所長会⁷⁾、千葉県精神保健福祉センター⁸⁾、川越市保健所⁹⁾、田園調布大学¹⁰⁾)
- P8-8 中高年の地域住民における食習慣と抑うつとの関連について
西 良知¹⁾、小山明日香¹⁾、福永 竜太²⁾、阿部 恭久²⁾、向坂 香織³⁾、藤瀬 昇¹⁾、池田 学¹⁾
(熊本大学医学部神経精神科¹⁾、八代更生病院²⁾、あさぎり町役場保健環境課³⁾)